

令和2年5月2日

コロナはやさしい言葉で伝えよう

コロナの感染対策では、「クラスター」に始まって、「オーバーシュート」、「ロックダウン」、「ソーシャルディスタンス」と専門家もしくは政治家、それを伝えるマスコミみんなが、すべての人に伝える必要があるのに、まるで分からない言葉で伝えている。それぞれ「集団感染」「感染爆発」「都市封鎖」「社会的距離」と普通に訳せば、よっぽど伝わる。明治の先人達が「レイルロード」を「鉄道」と訳した様に、より本質を伝える言葉を作り、幼児を含めた全ての人に伝える言葉を生み出さないといけない。この先、具体的な対策を伝えるには、ソーシャルディスタンスは「感染安全距離」だろうが、幼児には「バッチイから人に近寄るな」なんだろうか?。簡単な言葉で伝える努力をすれば、伝える側は必ず本質を理解して、必要な部分を強調できるようになるはずだ。